

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス		公表日		2025年 1月 20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	余分なものを都度都度整理して、広さを確保している。 荷物スペースの拡充が必要	更衣スペースを設けた。今後クールダウンスペースとしても利用できる。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	土曜日は子供が多いが、職員のコミュニケーションを多くして、一人一人に目を配り、対応していると思う。 あと一人多いと全体に目が行き渡ると思う。	特になし。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	物の管理についてのルールをもう少し周知した方がいいのでは？事務所の中のものに勝手に出さない、出すときはことわる等。分りやすさと定期的に整理が必要。クールダウンスペースを作りたい。	・はさみはカギのかかるケースに入れる。 ・職員ロッカーの鍵が抜けなくなっている。 →シリンドアを交換		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	よく掃除してくれています。	特になし。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	もっとクールダウンスペースが多くてもいいと思う。クールダウンスペースに物が多い。基本的にスペースが狭いため、簡易に一人に慣れる「衝立」のようなグッズがあるとよい。	ブラダンも切ったものでいいので、仕切りを用意する。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	全メンバーの集まる日の設定は年2回が理想。	年2回研修や自己評価などのために全職員が集まる日を設定している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	マニュアルをホームページに載せて紙にQRまで付けたが、読まれていない様子。	特になし。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	ラインワークスを活用したのはよかった。	特になし。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	客観的にみるためにも必要では？	親や、大学の先生に依頼するなどの方法が考えられる。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	わかりません。 4、5人で参加した研修もある。	全職員のインプロワークショップを研修に取り入れてはどうか？ 1月公演に職員も出演をしては？		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	本日検討。検討後HPに掲示します。	特になし。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		日々の活動の中でアセスメントを行っている。以前は年2回相談日を設けていたが、現状は難しい。卒業間近などには実施したい。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		特になし。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		特になし。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	どんなツールを用いるかわからないが、日々の振り返りや個別の支援計画に向けた話し合いを十分行っているため改めて標準化されたツールは必要ないのではないか。フォーマルは難しいのでは？	実施してみたところ、研究には有用だが、個別に行う療育には手間のわりに効果を感じなかった。独自で作るのであれば有用？		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	「地域支援・地域連携」についてはわからない。	特になし。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		特になし。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		特になし。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		特になし。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	例外的なタイミングもあるが大抵は出来ていると思う。	特になし。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	大きな問題が無ければ、毎回30分で実施したい。	特になし。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		特になし。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		特になし。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	わかりません。	特になし。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	この点は特に気を遣っている。とてもしていると思う。	特になし。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	わかりません。(2)	参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	わかりません。(3)	相談支援センターとは、協議会のつながりで連絡をもらうことがある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	わかりません。	対応している職員が限定されている。その職員間では情報共有を常に行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	家庭から聞いている。(2) 聞いたことはない。 わかりません。	来年度、小1の利用がある予定だが、保護者への聞き取りで十分対応できる。今後、必要があれば。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	家庭から教えてもらっている。(2)	卒業する子どもの家庭に、「必要なら情報提供をします」と伝えている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	2	不明	児童発達支援センターに連絡をすれば、来てくれるかも？
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	嫌がる子どもが多い。	神戸市中学校の部活を受け入れることになれば機会は作れると思うが、嫌がる子どもが多くいると考えられる。丁寧な対応が必要。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0	不明	参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		活動後に直接保護者に様子を伝えている。年2回の懇談でもお伝えをしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	個別に懇談で相談。 不明	個別に懇談で対応。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		利用契約時にお示ししている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		直接話し合う場を設けている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	わかりません。	特になし。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		特になし。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	わかりません。 兄妹はない。父母に会は、公演毎。	公演ごとに親の会を開催していただいている。新規利用者には、親の会についてアナウンスをしている。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	わかりません。 最近だと、Sさんの件。	直近で大きな苦情はなかったが、その都度対応をしている。	

ア	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月カレンダー等を紙で発信。	日程等、毎月書面にてお示ししている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		公演後の集合写真のとき、「ネットに上げないように」とアナウンスがあった方が良い。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		特になし。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	看板を出して公演を知らせることはしている。夏公演は、学校やクリニック、相談支援事業所、行政の窓口にチラシを配布している。HPやX,FACEBOOKにて掲示している。	特に夏の公演は広報をして広く観劇を呼び掛けている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	マニュアルはある。定期的な実施が望まれる。	特になし。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	回数が少ないかもしれない。BCPはある。	1月20日より避難訓練を1週間実施。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	予防接種についてはわからない。	契約時にフェイスシートにより聞き取り、毎年の「緊急連絡シート」の更新で服薬の確認ができる。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	現在はいない。(2)	対象児なし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	わかりません。	通所に関わるメンバー間で共有している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	わかりません。	退所時や、メールなどで適宜行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	発作については共有している。出来るだけしていると思うが、その場の対応だけで終わってしまったものもある。	年2回の職員集合時に検討をしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		毎年1回研修がある。今年度は3月20日の予定。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	わかりません。該当する児童がいない。(2)	可能性のある子どもの保護者には、対応について相談と説明をしている。	